

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 24 年 5 月 25 日現在

機関番号：34319

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2008～2011

課題番号：20520263

研究課題名（和文） 18・19世紀イギリス植民地支配における科学的探究とロマン主義文学

研究課題名（英文） Scientific Exploration under British Colonialism and Romantic Literature in the 18th and 19th Centuries

研究代表者

勝山 久里（KATSUYAMA KURI）

京都造形芸術大学・芸術学部・教授

研究者番号：00351362

研究成果の概要（和文）：

『進化論』を著したCharles Darwinの祖父であり、植物学者、発明家でもあるErasmus Darwinの詩作品、*The Botanic Garden*(1789-91)等を読み解き、文学と科学的探究の融合が、ロマン主義文学者に与えた影響を分析した。当時の科学的言説が、コールリッジの『文学評伝』や『生命論』の中に如何に反映しているのかを探究した。国際学会において、18世紀後半以降の自然史の方法論に基づいた民俗学的な旅行記などの記録が、当時のイギリスの美意識や美学に与えた影響について論じ、それがどのようにコールリッジの地政学的な視座を形作って行ったのかを発表した。

研究成果の概要（英文）：

I explored some poems by Erasmus Darwin, grandfather of Charles Darwin. Romantic poets cultivated a strong scientific spirit through his writings. Science aimed to introduce new concepts of the living being and the natural organism. I analyzed how science, life science particularly, could be a source for new symbols and values of Romanticism. I also analyzed contemporary travelogues recording East Asian countries and ethnographic paintings, the method of which from the middle of the 18th century was influenced by the paradigm of natural history.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2008年度	500,000	150,000	650,000
2009年度	500,000	150,000	650,000
2010年度	500,000	150,000	650,000
2011年度	500,000	150,000	650,000
年度			
総計	2,000,000	600,000	2,600,000

研究分野：英文学

科研費の分科・細目：文学、英米・英語圏文学

キーワード：英米文学・比較文学・西洋史・東洋史・科学史・政治学

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

1. 研究開始当初の背景

2002年から2006年にかけて科学研究費基盤研究(C)に採択された研究課題「18・19世紀イギリス植民地支配とロマン主義文学」（課題番号：15520206）により、かなりの量の英国植民地支配に関わる資料の収集が行えた。これには特にアジアに関する資料が充実しており、これらの資料を基に今回の申請課題である「18・19世紀イギリス植民地支配における科学的探究とロマン主義文学」をアジアを拠点に、遂行していくことが可能であると考えた。同時に、この時期広範に行われた、航海、遠征に関わる資料を新たに収集し、今回の申請課題を前採択課題の継続的な発展・展開として計画した。

2. 研究の目的

ロマン主義文学を、ヨーロッパ帝国支配、植民地支配との関わりの中で捉えることによって、1770年から1830年の間に書かれた文学、批評書、この間になされた講演の再評価を行う。ロマン主義の時代において、ヨーロッパの植民地支配が物質的にもイデオロギー上においても劇的な変化を遂げることに注目し、18・19世紀イギリス帝国支配の新しいシステムによって強力に形成されつつあった科学的知の体系を、ロマン派文学がどのように取り込み、またそれに対峙したのかを明らかにすることが本研究の目的である。

3. 研究の方法

(1) 本研究の新しい焦点である科学的探究とロマン主義文学の関係性を明らかにするため、遠征報告書、記録、旅行記、新聞記事、雑誌等の関連資料を既存の図書に掲載されている参考文献や雑誌論文を手がかりに、イン

ターライブラリー・サービスを使って、日本国内の国立大学図書館・私立大学図書館から可能な限りの資料収集に従事した。

(2) ハーバード大学のイェンチン・インスティテュートの助けを借りて、資料収集を進め、イギリス・アメリカ文学研究、比較文学研究所所属で、Coleridgeをはじめロマン派文学を専門とするJames Engell教授に師事を仰いだ。探検家の日記、報告書、様々な旅行記、新聞、雑誌記事と照らし合わせながら、アジアにおける植民地支配、科学的探究とロマン主義のかかわりを詳細に分析し、関連学会において研究発表を行い、この分野に関心を持つ研究者と学際的な視座から意見交換を行った。

(3) 中国広東と東インド会社とのかかわりから、アジアを拠点としたイギリス帝国支配の実態とそれに対するロマン派の言説の分析を行って来たが、前回の科学研究費交付期間では十分に成し得なかった被帝国支配者側の言説の分析を、ロンドン大学のSOAS (School of Oriental and African Studies) 等の機関とインターライブラリーを利用し、充実させた。

(4) 当時なされた様々な航海の記録を紹介している、Peter J. Kitson 編集の、*Travels, Explorations and Empires: Writings from the Era of Imperial Expansion, 1770-1835* (2002)等を利用して、普遍的かつ有益な知の強力な形成が、当時のイギリスの航海、交易の拡大に如何に深く根ざしていたかを分析した。ロマン主義文学と強力に形成されつつあった科学的知の体系、植民地支配の関係性を明らかにし、研究会や学会等で研究発表を行った。

4. 研究成果

(1) 『進化論』を著したCharles Darwinの祖父であり、植物学者、発明家にして詩人のErasmus Darwinの詩作品、*The Botanic Garden*(1789-91)を詳細に読み解くことを通して、彼が成した文学と科学的探究の融合という一つの新しい視座が、Blake、Coleridge、Wordsworth、Shelley Circle や Eleanor Anne Pordenといった広範なロマン主義文学者に与えた影響を分析した。口頭発表の上、論文に纏めた。

(2) ロマン主義の時代が、普遍的かつ有益な知の追求を通して、地球全体を図化しようとするヨーロッパの自我の構築の時代重なることに注目した。Cookの航海の目的の一つに地球磁力と極への科学的探究があるが、この事実と、Blake、Wordsworth、Coleridgeらが極の概念に取り付かれ、彼らの認識論が相対立する力、主体、客体、対立と調和に依拠していたこととは深く結びついている。これらの事実を踏まえて、コールリッジの『生命論』と『文学評伝』を詳細に読み解き、これらに通底している極理論と生命科学に基づく科学的言説を分析し、研究発表の後、論文に纏めた。

(3) コールリッジ国際学会において、*'Kubla Khan and British Chinoiseri: The Geopolitics of the Chinese Gardens'* と題し、研究発表を行った。1792年に派遣された英国初の対中国使節団による清の乾隆帝とその治世についての広範囲に渡る報告書と、それがイギリスにもたらしたシノワズリーとの関連を分析した。18世紀後半以降の自然史の方法論に強い影響を受けた民俗学的な使節団の観察や記録が、どのようにイギリスの美意識や美学に影響をもたらしたのか、さらにそれがどのようにコールリッジの地政学的な視座を形作って行ったのかを探求した。この国際学会での研究発表は Selected

Paperとして選ばれ、*Coleridge, Romanticism and the Orient*のタイトルでThe Continuum International Publishingから出版されることになっている。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計2件)

(1) 勝山 久里 「イギリス・ロマン主義と生命科学—コールリッジの『生命論』と『文学評伝』—」『京都造形芸術大学紀要 GENESIS』第14号、査読有、2010年、pp. 244-251

(2) 勝山 久里 「科学的探究とロマン派文学：エラズムス・ダーウィンの『植物園』(1789-91年)」『京都造形芸術大学紀要 GENESIS』第13号、査読有、2009年、pp. 83-90

[学会発表] (計3件)

(1) 勝山 久里 'Kubla Khan and British Chinoiseri: The Geopolitics of the Chinese Gardens' Coleridge International Conference (コールリッジ国際学会)、2011年7月17日、神戸国際会議場

(2) 勝山 久里 「「ロマン主義と生命科学」—コールリッジの『生命論』と『文学評伝』」関西コールリッジ研究会 第147回例会、2010年9月25日、同志社大学

(3) 勝山 久里 「科学的探究とロマン派文学：Erasmus Darwinの*The Botanic Garden* (1789-91)」関西コールリッジ研究会 第140回例会、2008年11月22日、同志社大学

〔図書〕（計1件）

(1) Kuri Katsuyama ‘*Kubla Khan and British Chinoiseri: The Geopolitics of the Chinese Gardens*’
Coleridge, Romanticism and the Orient
London: The Continuum International Publishing, 2013

〔産業財産権〕

○出願状況（計0件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況（計0件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

勝山 久里 (KATSUYAMA KURI)
京都造形芸術大学・芸術学部・教授
研究者番号：20520263

(2) 研究分担者

()

研究者番号：

(3) 連携研究者

()

研究者番号：